



ケーススタディ

業種
製造

メリット

大規模な建物の電気管理システムで2FAを実現

HSMによって、純正製品を確実にサプライチェーンへ供給

プロトコル

2FA

製品

YubiHSM

YubiKey 5シリーズ

展開情報

電力システムオペレータ

重要なインフラの管理者

製造業のセキュリティリード

Schneider Electricは、Yubicoでグローバルなサプライチェーンのセキュリティを強化しています

Schneider Electric Energy Management - グローバルリーダー

世界は電気で動いています。電子機器、ウェアラブルから、さまざまな形式の輸送、住む場所や働く場所に至るまで、世界全体がすぐに利用できる電力に依存しています。Schneider Electricは、エネルギー管理と自動化のデジタル変革リーダーとして、同社のモットーである「Life Is On」でも、現代世界のプラグインの必要性を重要視しています。

Schneider Electricの2つの事業の1つであるSchneider Electric Energy Managementは、重要なインフラストラクチャ向けに安全で信頼性の高い製品と電源管理システムを提供することを目的に構築されています。その対象には、データセンター、大規模オフィスビル、病院、石油およびガス掘削事業などが含まれます。電力を効率的に分配する電気部品から非常に複雑なターンキーエネルギー管理ソリューションに至るまで、Schneider Electricは世界中で持続可能な信頼性の高いエネルギーを利用できるようにしています。

YubiKeyによりシステムオペレータは電源操作システムで重要なアクションを実行できます

Chad Lloyd氏は、Schneider ElectricのEnergy Management部門のサイバーセキュリティアーキテクチャ担当ディレクターです。Lloyd氏は当初、安全な設計を含む、電力運用またはSupervisory Control and Data Acquisition (SCADA) システムの主任アーキテクトとしての責任を担っていました。2016年、Lloyd氏は、インターネットやSMSなどの従来の方法を使用せずに、分離されたシステム上に多要素認証 (MFA) を統合するという課題に直面していました。コンピュータセキュリティ会議であるBlackhatに出席しているときに、同氏は初めてYubicoの存在を知り、帰宅する際にはいくつかのYubiKeyをポケットに収めていました。Lloyd氏は、電力の運用管理に関連するSCADAシステムでYubiKeyを試し始めました。YubiKeyの利点の1つは、電源が不要で、インターネットに接続する必要がないことです。

IEC SL2認定の一環として、MFAを電力運用システムに組み込み、将来のSL3要件を満たすことができるようにしました。これはSchneider Electricにとって差別化する上でのポイントになります。」



Chad Lloyd氏

Schneider Electric Energy Management
部門のサイバーセキュリティアーキテクチャ
担当ディレクター

グローバルサプライチェーンをプロアクティブに保護することは重要なステップでした。正しくテストされ承認された製品こそが、製品を購入して導入するお客様に信頼されるからです。」

Chad Lloyd氏

Schneider ElectricのEnergy Management部門のサイバーセキュリティアーキテクチャ担当ディレクター

Schneider Electricは、Lloyd氏を通じて、電力の運用管理に関連するSCADAシステムにYubiKeyを導入し、MFAによるセキュリティを強化しました。最新のMFAを導入することで、SCADAシステムがシフト変更時やその他の重要なオペレーションが必要な場合に安全に移行できるようになるため、いくつかのメリットが得られました。たとえば、オペレータは、自分のYubiKeyで自己認証することにより、さまざまな状況でシステムにログインすることを求められます。このプロセスにより、オペレータはシフトを開始して、迅速に認証し、必要に応じて、システムを中断せずにアクションを実行できます。MFAにより、認証されたユーザーのみがシステムを運用するためのアクセス権を得ることができます。

また、監督者によるオーバーライドが必要な場合にもYubiKeyが使用されています。この場合、プレーカーを閉じる必要があるときは、オペレータがコマンドを発行し、YubiKeyを挿入するように指示するプロンプトが表示されます。完了すると、実際のプレーカーの動作が完了する前に、監督者のYubiKeyに2番目のプロンプトが表示されます。これらのすべての認証とアクションは、監査ログに含まれ履歴がクリアされます。この認証セキュリティ層は、お客様がコンプライアンスを実現し、運用全体のセキュリティ体制を強化するのに役立ちます。

Schneider Electricによるグローバルサプライチェーンのセキュリティ保護

Schneider Electricは最近、いくつかの製品のIEC-62443 SL2認定を取得し、重要なマイルストーンを達成しました。YubiKeyを使用した最新のMFAは、SL3認定にのみMFAが求められている場合でも、認証を取得するための時間のかかるプロセスの一部でした。「IEC SL2認定の一環として、MFAを電力運用システムに組み込み、将来のSL3要件を満たすことができるようにしました。これはSchneider Electricにとって差別化のポイントとなります」とLloyd氏は述べています。

Lloyd氏が推進を支援したもう1つの重要な取り組みは、Schneider Electricのグローバルサプライチェーンに対するプロアクティブなセキュリティ保護を重視することでした。

「安全とセキュリティはSchneider Electricにとって最優先事項であり、私たちが行うすべてのことに反映されています」とLloyd氏は述べています。Schneider Electricのすべての純正製品の厳格なテストと製造プロセスにより、同社が高い評価を受けている安全性と信頼性が確保されます。サプライチェーン内のセキュリティをプロアクティブに強化するために、同社は主要サプライヤーと統合するための高度なセキュリティ対策を講じてきました。世界最小の強力なハードウェアセキュリティモジュール (YubiHSM) などのYubicoテクノロジーを活用することで、同社はサプライチェーンのセキュリティを確保しています。「フォームファクタが要因となってYubiHSMが選ばれました。まさに私たちが求めていたものであり、言わば自給自足型のものでした。YubiConnectorによって当社のライブラリをコード化して、製造プロセスに統合することができました。」

サプライチェーンをプロアクティブに保護するために、Schneider Electricは主要ベンダーと密接に連携し、ベンダーとSchneider Electricの両方がYubiHSMモジュールを製造プロセスに組み込めるようにするデュアル暗号化を作成しています。このプロセスにより、Schneider Electricブランドの製品は、製造時に両社によって組み込まれた暗号化キーに基づいて確実に信頼されるものとなります。Lloyd氏は次のように述べています。「グローバルサプライチェーンをプロアクティブに保護することは重要なステップでした。正しくテストされ承認された製品こそが、製品を購入して導入するお客様に信頼されるからです。」

Schneider ElectricとYubicoの連携により、組織は強力なMFA、製品、サプライチェーンプロセス、実証されたコンプライアンスに支えられて、イノベーションを続けることができます。



[Learn more](#)

yubi.co/customers-ja

yubi.co/manufacturing

yubico

Yubico (Nasdaq First North Growth Market Stockholm : YUBICO) は、最高水準の耐フィッシング多要素認証 (MFA) のYubiKeyの発明者であり、FIDOオープン認証規格の作成者かつ担い手です。Yubicoは、160か国以上のお客様にハードウェアベースのパスキー認証を提供するパイオニアです。詳細については、www.yubico.comをご覧ください。

© 2024 Yubico